

# 絵本『きんぎょがにげた』の 世界を楽しもう

保育所 0歳児  
【活動日】9~12月

ねらい

- 1対1で子どものペースに合わせて読み聞かせを楽しむ
- きんぎょになって表現あそびを楽しむ

## 活動内容

- ① 絵本『きんぎょがにげた』の読み聞かせをする。



- ② きんぎょモチーフの部屋飾りをつるし、ゆらゆら揺れるきんぎょを目で追ったり、指さしをする。
- ③ ラミネートしたきんぎょを手にし、絵本の世界を自分で泳がしたり、隠したつもりになって遊ぶ。



- ④ きんぎょになって泳ぐ真似をしたり、ダンスをして生活発表会で披露する。



## 園児の様子

色々な絵本の読み聞かせをする中で、逃げたきんぎょを探しながら指をさし、見つけていく絵本「きんぎょがにげた」を気に入り、子どもたちが興味をもって繰り返し楽しんだ。そんな姿から、きんぎょがにげたごっこ(かくれんぼ、いないいないばあなど)と一緒に楽しんだり、きんぎょモチーフを保育室のいろいろなところに隠れさせ、見つける遊びを楽しんだ。言葉が出始めた高月齢児は、「きんぎょ」という単語を喜んで発し、指さしをして物と言葉の一致を習得した。

## ★指導のポイント

- ◆ 繰り返しの簡単なフレーズをゆっくりと読み、きんぎょを見つけて指さしをし、保育士の顔を見て、確認をするという一連の姿から、見つけた喜び、知らせたいという思いを受け止め、共感していく。
- ◆ ゆらゆら、ふわふわ、ぷくぷくといった、水槽の中のきんぎょのイメージを繰り返しの音にして伝え、心地よさ、楽しさが味わえるようにした。

資料

『きんぎょがにげた』(五味太郎/作 福音館書店)